

体の柔軟性に自信があるという人は、肘を顎に付けてみてください。いかがでしょうか？一見、簡単にできそうな動作ですが、どんなに頑張っても、右肘も左肘も顎に付かないと思います。人体はとても精密にできていますが、ほとんどの人ができない動作がいくつかあって、これはそのひとつです。人体は不思議ですね。

知っとこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識：【税金が3年連続で過去最高】

2022年度の財務省の発表によれば、税金は前の年度よりも4兆995億円ほど増えて71兆1374億円となりました。70兆円を超えたのは初めてで、3年連続で過去最高を更新しています。税金が増えた要因として



は、物価高による消費税が増えたこと。コロナ禍からの企業業績の回復による法人税金が増加したこと。さらには賃上げの動きが広がったことによる所得税が増えたこと。いわゆる基幹税であるこの3つの税金が、増加したことが要因と考えられます。税金で一番多かったのが消費税の23兆793億円、次いで所得税の22兆5217億円、法人税の14兆9398億円で、この基幹税の合計で60兆円を上回っています。リーマンショック後に一番落ち込んだ2009年度の38.7兆円と比較すると、約22兆円も上回っています。一方で歳出については、新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対応する予算を計上しながらも、結果的に使う必要のなくなった不用額が11兆3084億円と過去最大となりました。

光を放つ 名言コラム

【年齢は関係ありません】

「藪からスティック」など日本語に英単語を織り交ぜて話すコミカルな「ルー語」で知られるタレントのルー大柴氏。月刊誌『CHANTO』のインタビューで、再ブレイクのきっかけとなった新しいマネージャーとの出会いについて語っていました。このままじゃだめ、と当時50代の大柴氏に30代のマネージャーが直言したそうです。大柴氏は「年齢は関係ありません」「年下であろうと、いいものの考え方を持っている人と努力すれば（中略）2倍、3倍の力になる」と語っていました。年長者の中には、こうした場面で生意気だと腹を立てる人もいます。しかし頭では、大切なのは言われた内容だと分かっているでしょう。そうだなと思えるアイデアはぜひ受け入れましょう。きっと新しい何かにつながります。それでも若者から言われたくないときは「タイムワープでやってきた若い頃の自分」と思ってみてはいかがでしょうか。

世界の偉人伝

今月の偉人：【アンデルセン】

ハンス・クリスチャン・アンデルセンは、19世紀のデンマーク出身の童話作家です。『親指姫』や『マッチ売りの少女』など150以上の作品は、伝承物語のグリム童話とは異なり、全てアンデルセンのオリジナルです。貧しい家庭に生まれ、苦勞を重ねた青年時代でしたが、晩年は作家として成功を収めました。そのため作風は悲観的な物語からハッピーエンドへ変化しました。「私の人生は、私の全ての作品の最高の実例となるだろう」との言葉通り、人生哲学を物語に投影した人だったのです。

「明日は快晴」の予報なら、翌日は早起きをして湿気のあるうちに窓拭きを済ませましょう。年末の大掃除に向けて少しずつ！

窓拭きに適しているのは湿度の多い明け方曇りの日です。空気中の湿気が汚れを浮き立たせるので窓の汚れが落ちやすくなります。



才人の言葉

新しい舞台に立つこと
恐れるな

スペースXなどのCEOであるイーロン・マスクの言葉。慣れ親しんだ事業を続けるのも大切だが、新たな分野にチャレンジする経験も人生を豊かにするだろう。

振り向けばあそこにも ここにも 商売のヒント

今月の商売のヒント：【20年後に後悔しない商売】

商売において大事な資質とは何でしょうか。答えは十人十色だと思いますが「新・経営の神様」の異名を取る稲盛和夫さんは、苦難続



きだった実体験をもとに「何事も誠実であれば踏み越えられないこともないし、誠実であれば一目置かれる」というメッセージを若い世代に残しました。社会貢献の先駆者でもある稲盛さんの人生が、誠実さと利他主義の二本柱に支えられて

いたことはご存じの方も多いでしょう。「人のため世のためを思い仕事をする」と経営の原点だと、繰り返し語っていました。また日本の将来についても思慮深い洞察を持っていました。日本伝統の芸事が持つ「礼」の精神を尊び、経済力よりも品性や礼儀を重んじ、周囲の国々から尊敬される国になることを望んでいました。誠実さ、利他心、品性、礼儀。どれも利益に直結したものではありません。誠実で利他心にあふれ、品性と礼儀が備わっていても、自社の商品やサービスでお金を生み出す力がなければ、ただの良い人になってしまうかもしれません。けれど今はお金を生み出す力が乏しくても、人柄の良い人は周囲から愛されて応援されるでしょう。逆に、お金を稼ぐ力はあっても性格の悪い人の行く末は、皆さんが想像するとおりにです。もちろん何事においてもバランスは大事です。しかし5年後、10年後、20年後にどうなっていたいのか、そこを見て商売をしている人は、目先の損得に一喜一憂することより大事なものがあることを、よくお分かりだと思います。精神性が上がると、今までと同じ出来事でも見え方や捉え方が変わってくるものです。自己成長の目安にしたいものですね。

ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【リーガルテック】

「法律」と「技術」を結合させた造語で、法律業務などの利便性を向上させるIT技術を活用したサービスやツールを指す。代表的なものに「電子署名サービス」「契約書管理サービス」がある。政府が推進する働き方改革を背景に注目を集め、新型コロナウイルスの影響によるリモートワークの普及で導入企業が増えている。

トナリの本棚

【運動脳】

スウェーデンの精神科医であるアンデシュ・ハンセンのベストセラー。有酸素運動で脳が増えて活性化すること。きっと明日から歩きたくなる一冊です。



元氣と氣づきを提供する
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>